



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 フジ日本精糖株式会社  
 コード番号 2114 URL <http://www.fnsugar.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船越 義和  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部本部長 (氏名) 福田 弘  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3667-7811

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	5,070	1.1	265	△28.8	299	△31.8	176	△25.9
24年3月期第1四半期	5,014	3.5	372	△7.1	439	1.8	238	△21.7

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 95百万円 (△65.6%) 24年3月期第1四半期 276百万円 (37.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	6.60	—
24年3月期第1四半期	8.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	18,316	12,846	69.7
24年3月期	18,601	12,934	69.5

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 12,763百万円 24年3月期 12,934百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,000	2.2	420	△41.9	450	△45.5	300	△37.1	11.22
通期	20,000	3.8	800	△21.9	900	△21.5	550	△13.6	20.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd 、除外 1社 (社名)  
(注)詳細は(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	29,748,200 株	24年3月期	29,748,200 株
25年3月期1Q	3,006,285 株	24年3月期	3,005,585 株
25年3月期1Q	26,742,440 株	24年3月期1Q	26,757,238 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に回復の兆しはあるものの、欧州の財政金融不安に伴う海外経済の減速など、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような環境下、当社グループは、製品の安定供給を最重要課題として取り組みました。また、タイ国において、イヌリンを製造販売するための合弁会社を設立し、タイ工場建設などのプロジェクトの推進に注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高5,070百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益265百万円（同28.8%減）、経常利益299百万円（同31.8%減）となり、特別損失として投資有価証券評価損9百万円など総額18百万円を計上した結果、四半期純利益は176百万円（同25.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 精糖事業

精糖事業の業績は、売上高3,295百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益290百万円（同24.4%減）となりました。売上高は、大手ユーザー向けの販売が順調に推移し、販売数量は前年同期比で増加したものの販売価格が下落した結果、減収となりました。損益面では、原料糖の仕入コストは減少したものの、販売価格の下落を吸収しきれず減益となりました。

#### ② 機能性素材事業

機能性素材事業の業績は、売上高1,622百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益27百万円（同12.0%減）となりました。売上高は、機能性食品部門において、イヌリンを主原料とした大手食品ユーザーの脂肪代替商品が引き続き好調に推移したことや連結子会社ユニテックフーズ(株)の主力商品であるゼラチン、ペクチン等の拡販効果により、前年同期比で増収となりました。しかしながら、損益面では、設備投資による減価償却費及び販促活動における費用の増加等により、前年同期比で減益となりました。

#### ③ 不動産事業

不動産事業の業績は、売上高151百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益131百万円（同1.1%減）となりました。小規模住宅の賃貸の稼働率悪化により、前年同期比で若干ながら減収減益となりましたが、安定収益に貢献いたしました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1.5%減少し、18,316百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

#### ① 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ2.6%減少し、7,991百万円となりました。これは主に棚卸資産の減少等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ0.7%減少し、10,325百万円となりました。これは主に投資有価証券の減少等によるものであります。

## ② 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ3.9%減少し、3,546百万円となりました。これは主に仕入債務の減少等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ2.7%減少し、1,922百万円となりました。これは主に長期借入金及び退職給付引当金の減少等によるものであります。

## ③ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ0.7%減少し、12,846百万円となりました。これは主に四半期純利益を計上したものの、配当金の支払により利益剰余金が減少したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね順調に推移しております。よって、前回発表（平成24年4月27日）の第2四半期連結累計期間業績予想及び通期業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立したFuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.を連結の範囲に含めております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項ありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、当該変更による、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,858,033	1,934,647
受取手形及び売掛金	1,975,956	1,993,094
有価証券	322,069	322,073
商品及び製品	1,595,762	1,674,850
仕掛品	152,386	146,686
原材料及び貯蔵品	1,279,084	890,916
その他	1,021,209	1,031,888
貸倒引当金	△2,504	△2,879
流動資産合計	8,201,997	7,991,278
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	700,228	719,039
機械装置及び運搬具(純額)	233,151	219,700
土地	2,048,834	2,048,834
その他(純額)	55,376	55,744
有形固定資産合計	3,037,592	3,043,319
無形固定資産		
のれん	901,776	874,779
その他	109,321	106,880
無形固定資産合計	1,011,097	981,659
投資その他の資産		
投資有価証券	4,111,053	4,053,648
関係会社長期貸付金	1,926,200	1,926,200
その他	383,290	390,617
貸倒引当金	△70,090	△70,101
投資その他の資産合計	6,350,453	6,300,364
固定資産合計	10,399,143	10,325,343
資産合計	18,601,140	18,316,621

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,305,513	1,190,976
短期借入金	1,421,859	1,468,946
未払法人税等	109,837	71,457
賞与引当金	110,502	56,872
役員賞与引当金	10,610	2,460
その他	731,837	756,174
流動負債合計	3,690,159	3,546,887
固定負債		
長期借入金	997,716	969,216
退職給付引当金	348,702	325,679
役員退職慰労引当金	147,221	144,608
資産除去債務	54,237	54,375
その他	428,987	428,879
固定負債合計	1,976,863	1,922,757
負債合計	5,667,023	5,469,644
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,524,305	2,524,305
利益剰余金	9,241,908	9,151,040
自己株式	△740,988	△741,191
株主資本合計	12,549,685	12,458,614
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	385,715	308,687
繰延ヘッジ損益	△1,283	△1,283
為替換算調整勘定	—	△2,638
その他の包括利益累計額合計	384,431	304,764
少数株主持分	—	83,597
純資産合計	12,934,117	12,846,976
負債純資産合計	18,601,140	18,316,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	5,014,505	5,070,105
売上原価	3,862,811	3,972,472
売上総利益	1,151,693	1,097,633
販売費及び一般管理費	779,473	832,481
営業利益	372,220	265,151
営業外収益		
受取利息	12,604	12,208
受取配当金	21,219	24,539
持分法による投資利益	43,672	2,325
その他	4,879	4,600
営業外収益合計	82,375	43,674
営業外費用		
支払利息	9,128	7,592
匿名組合投資損失	5,105	—
その他	910	1,599
営業外費用合計	15,145	9,192
経常利益	439,451	299,634
特別損失		
固定資産除却損	—	3,309
減損損失	9,125	—
投資有価証券償還損	—	5,455
投資有価証券評価損	71,316	9,738
特別損失合計	80,441	18,503
税金等調整前四半期純利益	359,009	281,130
法人税、住民税及び事業税	59,307	69,340
法人税等調整額	61,465	35,686
法人税等合計	120,772	105,026
少数株主損益調整前四半期純利益	238,236	176,103
少数株主損失(△)	—	△454
四半期純利益	238,236	176,558

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	238,236	176,103
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,277	△77,028
繰延ヘッジ損益	△1,372	△0
為替換算調整勘定	—	△3,021
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△976
その他の包括利益合計	37,904	△81,026
四半期包括利益	276,141	95,077
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	276,141	96,891
少数株主に係る四半期包括利益	—	△1,814

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖事業	機能性素材 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,356,130	1,504,623	153,751	5,014,505	—	5,014,505
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,400	127	277	3,805	△3,805	—
計	3,359,530	1,504,751	154,028	5,018,311	△3,805	5,014,505
セグメント利益	384,548	31,071	132,729	548,349	△176,129	372,220

(注) 1 セグメント利益の調整額176,129千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖事業	機能性素材 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,295,522	1,622,815	151,767	5,070,105	—	5,070,105
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,332	395	277	4,004	△4,004	—
計	3,298,854	1,623,211	152,045	5,074,110	△4,004	5,070,105
セグメント利益	290,649	27,356	131,227	449,232	△184,081	265,151

(注) 1 セグメント利益の調整額184,081千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) 重要な後発事象

## (重要な自己株式の処分)

平成24年7月4日開催の取締役会において、第三者割当による自己株式の処分を行うことを決議し、平成24年7月20日に当決議内容にて処分を行いました。

今回の自己株式の処分は、当社グループの精糖事業において、株式会社ヤクルト本社との関係強化により精糖事業の成長を図ることを目的としております。

取締役会決議及び処分の内容は以下のとおりであります。

①処分した株式種類	当社普通株式
②処分方法	第三者割当による
③処分株式数	145,000株
④処分価額	1株当たり287円
⑤処分価額総額	41,615,000円
⑥処分期日	平成24年7月20日
⑦処分先の名称等	株式会社ヤクルト本社(東京都港区東新橋一丁目1番19号)